



健康長寿ポイント 脳卒中とは？

脳、脳の血管が詰まったり、破れたりして、その先の細胞に血液が届かなくなって、細胞が死んでしまう病気です。平成25年の調査では、**がん、心臓病、肺炎に次いで死因の第4位**に位置しています。脳卒中の中で最も多いのが**脳梗塞**で、**脳出血、くも膜下出血**の順です。

脳梗塞

脳を養う血管が詰まる病気です。近年増加の一途をたどっており、脳全体の3/4を占めています。脳の血管が詰まるとその先に血液が流れなくなり、酸素と栄養が不足して脳細胞がダメージを受けてしまいます。脳の血管に血栓ができる脳血栓と、心臓でできた血栓が流れてきて脳の血管に詰まる脳血栓と大別されています。●原因：動脈硬化など ●主な前触れ：視野障害、右半身または左半身の麻痺やしびれ、言語障害、動きがぎこちなくなる。 次回は「脳出血」「くも膜下出血」をお伝えします。

脳梗塞

脳を養う血管が詰まる病気です。近年増加の一途をたどっており、脳卒中全体の3/4を占めています。脳の血管が詰まるとその先に血液が流れなくなり、酸素と栄養が不足して脳細胞がダメージを受けてしまいます。脳の血管に血栓ができる脳血栓と、心臓でできた血栓が流れてきて脳の血管に詰まる脳血栓と大別されます。



●原因：動脈硬化など
●主な前触れ：視野障害、右半身または左半身の麻痺やしびれ、言語障害、動きがぎこちなくなる。

子どもクッキング

8月9日 受講者14名で講師の河原早苗先生と児童の祖母1名と事務局1名により子どもクッキング教室を開催いたしました。今回はホットケーキと手作りパンを作りました。河原先生の指導の下、身近にある材料でとても上手に作る事が出来ました。最後に、みんなで試食をして、感想を聞いたところ、大変美味しく作れて良かったとの事でした。又 作ったパンやホットケーキを妹や弟にと、お土産に持ち帰る児童も多くおりました。



8月7日 来場者 約1000名が参加して、第16回浅水ふれあい夏まつりを開催しました。

浅水ふれあい夏まつり 盛会に開催

今年も、天候にも恵まれ、幅広い年代の見物客で会場を盛り上げていただきました。①「めんこいゆかたっ子」はインタビューを浅水小5年生の女子が対応してくれました。②「浅水よさこい」は大槻校長先生が浅水小6年生が、八ちん子かっぱ村のため居ないので、5年生が主体となるように指導したこと、校長先生がトランペットの特別出演を行ったこともあり、児童が一致団結で頑張ってくれました。③「三線弾人「かりゆし」と「水沢みちのく祭り太鼓」は岩手県奥州市から出演して頂き参加者にも踊って頂くなど盛り上げて頂きました。④「フォークバンド 田舎紳士」も新曲「わしえなえでや」も含めて熱唱して頂きました。⑤「清水バンド」はさすがプロの歌声を披露しました。⑥「盆踊り」も多くの方に踊って頂きました。⑦「新規製作の「ねぶた」と「絵手紙燈籠」や「竹燈籠」は浅水の夏まつりの特徴を出す演出をして頂きました。⑧最後の「お楽しみ抽選会」も75名方に賞品があたったりと最後まで盛り上がる事が出来ました。今年も盛会に開催できたのも、夏まつり『委員・スタッフ』の皆様の努力とご協力のおかげです。委員・スタッフ・地域の皆様ありがとうございました。



めんこいゆかたっ子

校長先生トランペット特別出演

浅水小児童よさこい

浅水小児童よさこい



綿あめづくり



綿あめ・射的・かき氷・スーパースクールすくい好評!



焼とりづくり



焼きそばづくり



暑い中頑張ってくれました!



奥州市「三線弾人「かりゆし」と「水沢みちのく祭り太鼓」の熱演



清水バンドの熱演



盆踊りも大勢の方に踊って頂きました。



地元「田舎紳士」の熱演



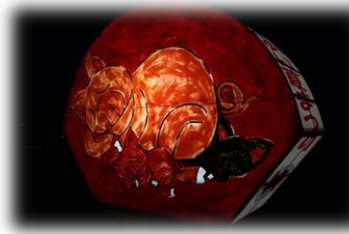
夏まつりの夜の雰囲気最高!



竹燈籠もLEDのともし火!



絵手紙作品燈籠も見事!



これが本当の「ねぶた」!
『寝豚』

これからの主な事業・行事

8月

- 18日(木) 女性講座
- 21日(日) 奉仕作業(舟場)
- 23日(火) そば打ち教室
- 24日(水) 絵手紙教室 リフレッシュ教室 福祉懇談会
- 28日(日) 相続法律相談会
- ふるスポ 登米市大会
- 30日(火) 文化財保存会 移動研修

9月

- 6日(火)~8日(木) ソフトテニス大会
- 7日(水) 男の料理教室
- 9日(金) 女性講座
- 13日(火) そば打ち教室
- 14日(水) 絵手紙教室 リフレッシュ教室
- 21日(水) 協働教育研修会
- 25日(日) 奉仕作業(川面)

